

事業所名		なないろテラス 大和教室				支援プログラム		作成日		2026 年		1 月		13 日	
法人（事業所）理念		福祉を通じて誰もが自分らしく輝ける地域社会を創造し、地域に信頼され必要とされ愛される事業所を目指す。なないろテラスは、子どもたちの「行きたい場所」であると同時に親御様にとって「安心して通わせられる場所」で在り続ける。なないろテラスの職員は、子どもたちの「頼れる人」であると同時に親御様にとって「信頼のおける人」で在り続ける。彩虹グループは、お子様とご家族様にとって心の拠り所であると同時に安心して暮らせる未来（あした）をつくる福祉企業で在り続ける。													
支援方針		『育児』は『育自』全ての子ども・職員が『楽しさ』を実感しながら育ち、育てるための支援を続けます。全ての子ども・職員が『楽しさ』と『喜び』を共感できるアットホームな場所 で在り続けます。子どもたちの個性を伸ばし、信頼性、専門性を備えた利用満足度の高い支援を実現します。子どもたちとご家族様の『叶えたい生活』に寄り添い想いにこたえます。子どもたちの成長や変化に柔軟に対応できる、切れ目ない支援体制を構築します。子どもたち一人ひとりと心を通わせ、大きな愛を持って向き合います。													
営業時間		9 時		0 分から		18 時		0 分まで		送迎実施の有無		あり			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	生活習慣や生活リズムの形成を目指し、基本的な生活スキルの獲得、身体的・精神的な観点からの観察を行い、健康に過ごせるように状況に応じて休憩を入れながら支援を行っていきます。利用予定日以外の日でも希望に応じて利用を受け入れていき、心身の安定に務めていきます。													
	運動・感覚	天気がよい日は室外に常設されたテラスにある、様々な運動器具を用いて、感覚統合に重点を置いた脳機能の発達を促す粗大運動を行います。協応動作、体感、力の調整、ボディイメージを鍛え、触覚、固有覚、前庭覚を整える療育を行います。注目する、順番を待つなどのソーシャルスキルも身につけます。子どものチャレンジ精神を大切にし、課題に取り組み、最終的に『できた』という達成感を得ることを重視し、なないろテラスでは、一人で行う物や多数で行う物などの自立課題を用意しております。楽しみながら課題に取り組み、たくさん『できた』を経験できる環境作りを行います。													
	認知・行動	実際に教員免許を持った職員による学習サポートを行います。個々の課題に合わせ適切な教具・教材を使用しながら楽しく学習へむかう事ができるよう工夫を重ねていきます。学校からの宿題にも対応しております。知識編重の学習ではなく、多様性を認め、知識や技術を活用する思考力・表現力などを育てます。協応動作、体感、力の調節、ボディイメージを鍛え、触覚、固有覚、前庭覚を整える療育をおこないます。療育に適したゲームを厳選し楽しく個々の特性を伸ばす。電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉で、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉え、競技以外でも認知症予防・子供の療育に使用したりと、ゲーム自体の戦略性、瞬発力、空間認識力などが必要になります。ゲームの結果が点数や勝敗でわかるので、繰り返しチャレンジし我慢強さを鍛え、友達とのコミュニケーション能力の向上に繋がります。													
	言語 コミュニケーション	楽しみながら細かい作業や友達と協力することの大切さ、家庭でも実践できるようなきつかけを作るお手伝いをいたします。イベント時に作成した物をご家族にも思い出の一つとなるよう写真や実際に作成した物を持ち帰っていただき成功体験を共有できればと思います。自社にて畑を所有しており、実際に農作業体験を実施しております。農業には生きる力・道徳感・達成感・正義感を培う力、好奇心・感覚を養う力、農業は結果が視覚で認識できる為、自己客観視力を高める等の効果もあると言われています。また、就労支援の観点からは、農業は人と話すことが苦手な人にとって、接客業とは異なり最低限のコミュニケーションで通じることもあり、就労では入口として優れていると言われています。													
	人間関係 社会性	VRを導入したソーシャルスキルトレーニングを実施します。ソーシャルスキルトレーニングとは社会生活技能を訓練することで「成功体験」を増やして、より生活しやすくなることを目的としています。知識の習得より実践的な性格形成に重点を置き、人間関係や社会的マナー、ルールを習得できる機会を多く設けています。人間関係を良好に保つスキルや、日常生活に必要なスキルなど幅広いテーマの中から生活のために、自分が今困っていること苦手なことなどを中心に必要な最低限のスキルを獲得し、VRを用いて向上を目指します。何ができないといけない。ではなく何が出来るようになった！とお子さま一人一人の自己肯定感を高め、自分の存在を認め、自分を受け入れられる経験を積み重ね、他者より良い関係作りが出来るよう促します。													
家族支援		多様化・複雑化している社会生活でのご家族様の不安や悩みの軽減を図るため、可能な限り相談の場を設け、また家族が安心できるよう支援場面に観察や参加の機会を設けて参ります。						移行支援		お子様一人ひとりの潜在能力を最大限に引き出せるようお子様の力を理解し支援に努め、お子様が親御様との対話を大切にしながら、ライフステージの切り替えを見据えたサポートを行って参ります					
地域支援・地域連携		地域活動や他事業所との交流を通じて、地域社会への参加・包摂を推進するため、多くの人との交流を行う。また必要に応じて各関係機関との連携を持ち、より良い支援の構築を目指して参ります						職員の質の向上		独自の倫理綱領に則り、職員研修・資格取得への意欲を高め、常に新しい知識を取り入れながら、療育の質の向上、並びに人間性と精神性を高めながら組織全体のパフォーマンス向上に努めて参ります					
主な行事等		初詣、お正月遊び、買い物体験、工場見学、調理実習、ピクニック、動物園や宇宙科学館等の外出支援、地域イベント参加、事業所間交流、芋ほり体験、外部講師の運動療育、豆まき、ひな祭り、ハロウィン、クリスマス会、夏祭り、ビジョントレーニング、アート制作、制作活動、科学実験、ルームシアター、伝統文化体験、避難訓練、災害体験、交通ルール学習、図書館巡り、果物狩り体験、スイミング、街探検、ボランティア活動、電車・バス乗車体験、お店屋さん体験 他。													